

# 令和8年度遠隔教育関連広報及び遠隔教育用動画コンテンツ教材作成等 業務委託仕様書

## 1 委託業務名称

令和8年度遠隔教育関連広報及び遠隔教育用動画コンテンツ教材作成等 業務委託

## 2 業務委託期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

## 3 業務の目的

本業務は、大分県教育委員会が推進する「遠隔教育（遠隔教育配信センターの施設・設備を含む）」について、効果的な広報活動および多層的な教育コンテンツの提供を行うことで、県内高校生の学習環境を最適化し、難関大学への進学者数増加および全県的な学力底上げを図ることを目的とする。

広報業務においては、専用ランディングページ（LP）やウェブサイト、プロモーション動画（PV）の制作・修正、およびリーフレットや各種フライヤーの作成を通じ、大分県の遠隔教育に関する認知度向上と利用促進を多角的に展開する。

学習支援においては、県内の高校生を対象に、個々の習熟度や目標に応じた以下の教育コンテンツを配信する。

第一に、すべての生徒が着実に学力を定着させられるよう、基礎・基本の振り返りを目的とした弱点補強動画コンテンツを提供し、学習の土台となる知識の再確認と定着を強力に支援する。

第二に、夏季・冬季・春季の長期休業中における特別授業を実施する。2年生を主対象とし、英語・数学・物理・化学において「難関大学レベル」「国公立大学レベル」の習熟度別授業をライブおよびアーカイブ配信（本業務ではアーカイブ部分のみ担当）することで、長期休暇中の学習習慣の維持と実践力の向上を図る。

第三に、3年生（2年生も参加可）を対象とした、大学入試問題解説動画をオンデマンド形式で配信する。2025年7月より、英語・数学・物理・化学の4科目について、九州大学をはじめとする難関大学の入試対策に特化した動画（1本15～20分程度）を月1回ペースで公開し、自宅等においても高度な試験対策が可能な環境を構築する。

これらの成果については、動画の視聴回数や生徒からの要望をもとに定量的・定性的な分析を行い、基礎から応用までを網羅した、より効果的な教材作成および指導体制の構築へとつなげるものとする。

なお本仕様書に記載する内容は、現時点で想定する業務内容の目安を示すものである。

本業務の目的達成および学習効果の最大化、広報効果の向上に資するものであれば、構成・手法・回数・形式等について、より効果的な代替提案を妨げない。

## 4 大分県の遠隔教育の状況

### (1) 配信センター方式による遠隔教育（配信教科：数学、英語、物理、化学）

配信側：大分県教育庁 遠隔教育配信センター

受信側：令和7年4月～ 臼杵高校、佐伯鶴城高校、日田高校、宇佐高校

令和8年4月～ 高田高校、国東高校、杵築高校、別府鶴見丘高校、竹田高校、  
玖珠美山高校、中津南高校、安心院高校、久住高原農業高校

令和9年4月～ 別府翔青高校、由布高校、津久見高校、三重総合高校、中津北高校

※令和9年度までに17校に対して配信センター方式による遠隔授業を実施予定

### (2) 学校間連携方式による遠隔教育（令和3年から実施）

配信側（配信教科）：国東高校（農業土木）、大分南高校（福祉）、情報科学高校（商業）、

受信側（受信教科）：国東高校（商業）、三重総合高校（農業土木）、

中津南高校耶馬溪校（福祉）、佐伯豊南高校（福祉）

※大分県の遠隔教育の状況については、以下LPを参照すること

<https://oitatele.com/>

## 5 遠隔教育関連広報業務

### (1) 本業務のターゲット層

- (1) 県内の中学生およびその保護者
- (2) 配信センター方式による遠隔教育実施校の生徒（受信側学校の高校1年生）
- (3) 県民など一般の方々

### (2) 各業務内容

- (1) 遠隔教育配信センターのウェブサイトおよび専用ランディングページ（LP）の修正
  - 1 遠隔教育の実施状況を踏まえ、ウェブサイトおよびLPを更新する
  - 2 年3～4回の更新を目安とするが、アクセス分析や利用状況を踏まえ、より効果的な更新頻度・構成改善案がある場合は提案を妨げない。（1回目の更新は4月下旬までに行うこと）
  - 3 上記に必要なドメイン、クラウドサーバー費用を含む

### (2) プロモーション動画（PV）の作成

- 1 遠隔教育を紹介する以下のPVを作成する
  - (1) 遠隔授業および遠隔による学習支援(SOP)の取組を紹介する（高校1年生・中学3年生向け）
  - (2) 遠隔教育配信センターの施設・設備を紹介する（一般向け）
- 2 年2回程度の更新を想定するが、視聴者属性や広報効果を踏まえ、動画尺、形式、配信媒体、活用方法について、より効果的な提案があれば妨げない。
- 3 8月中旬までにおこなうこと

### (3) フライヤーの作成及び発送

- 1 フライヤーの作成種類
  - 1 遠隔教育を紹介する中学生向けのフライヤー（①）
  - 2 遠隔による学習支援（SOP）を紹介するフライヤー（②）
    - (1) SOP1長期休業中の特別授業（夏季、冬季、春季）
    - (2) SOP2A動画教材配信（大学入試問題解説動画）
    - (3) SOP2B動画教材配信（遠隔授業の録画データ）
    - (4) SOP2C動画教材配信（弱点補強動画コンテンツ）
    - (5) SOP3～6を紹介する内容
      - ・ SOP3 1対1生徒個別学習指導
      - ・ SOP4 オンライン課題
      - ・ SOP5 進学支援講演会等
      - ・ SOP6 教科別個別面談
- 2 フライヤーはそれぞれA4判カラー2枚程度とする
- 3 ①については年2回程度作成（1回目は6月上旬までに作成）すること
- 4 ②については各種年1回程度すること
- 5 年間印刷枚数  
記載の部数は想定数量であり、広報効果の最大化の観点から、配布方法、媒体構成、紙媒体とデジタル媒体の最適な組み合わせについて、代替提案を行うことを妨げない。
  - ・ ①中学生向けのフライヤー：10,000枚程度（250枚×18校×2回＋予備）
  - ・ ②（ア）高校生向けのフライヤー：20,000枚程度（160枚×28校×4回＋予備）
    - （イ）遠隔授業受講生徒向けのフライヤー：200枚程度（10枚×13校＋予備）
    - （ウ）弱点補強動画用のフライヤー：8,000枚程度（200枚×40校＋予備）
    - （エ）遠隔授業実施校向けのフライヤー：500枚程度（25枚×18校＋予備）

### 6 各学校への発送費用を含むこと

### (4) 施設紹介（遠隔教育配信センター）リーフレットの作成

- 1 遠隔教育配信センターの施設・設備等を紹介するリーフレットを作成する。
- 2 リーフレットはA4判カラー4枚程度とする
- 3 年2回作成（1回目は4月中に作成）
- 4 年間印刷部数300部程度（150部×2回）
- 5 遠隔教育配信センターへ納品すること

(5) その他

- 1 県のHP記事作成の支援を行うこと
- 2 大分県の遠隔教育および遠隔教育配信センターの広報・周知等に関する支援を行うこと

## 6 遠隔教育用動画コンテンツ教材作成等業務

(1) 期待する効果

県内高校生が、難関大学を含む大学入試問題の解法を効率的かつ体系的に学習できる環境を整備するとともに、時間や場所に制約されず学習できる体制を構築する。また、動画の視聴状況や生徒からのフィードバックを継続的に収集・分析し、その結果を教材内容や構成の改善に反映させることで、基礎から応用までを網羅した、より効果的な動画教材の充実を図る。これにより、県内全体の学力底上げおよび難関大学への進学者数増加に資する学習支援を実現する。

(2) 動画コンテンツの内容

動画コンテンツの内容は、原則として遠隔教育配信センターの専任教員が担当し、県内高校生の多様な学習段階や進路目標に対応するため、以下の二つの軸に基づいて作成する。

一つ目は、難関大学入試対策を目的としたコンテンツである。夏季・冬季・春季の長期休業中に実施する特別授業について、主に2年生を対象として、英語・数学・物理・化学の4教科において、「難関大学レベル」および「国公立大学レベル」の習熟度別授業を展開する。これらの授業はライブ配信およびアーカイブ配信により実施し、本業務においてはアーカイブ配信部分を担当する。また、3年生（2年生も参加可）を対象に、大学入試問題を題材とした解説動画をオンデマンド形式で配信する。2025年7月以降、英語・数学・物理・化学の4教科について、九州大学をはじめとする難関大学の入試対策に特化した動画（1本15～20分程度）を月1回程度のペースで公開し、自宅等においても高度な試験対策が可能な学習環境を構築する。これにより、長期休業中における学習習慣の維持と実践力の向上を図るとともに、難関大学進学を目指す生徒の学習を効果的に支援する。

二つ目は、基礎・基本の定着を目的とした弱点補強コンテンツであり、つまづきやすい単元や重要事項を丁寧に解説することで、生徒一人ひとりの理解不足を解消し、学習内容の確実な定着を支援する。

これら二軸の動画コンテンツをオンデマンド形式で提供することにより、個々の習熟度に応じた学習を可能とし、難関大学への進学支援と併せて、県内全体の学力底上げに資する学習環境を構築する。

なお以下に記載する動画本数および時間は目安とし、学習効果の最大化、視聴完了率向上、理解定着促進の観点から、構成・本数・尺・形式について、より効果的な提案がある場合は妨げない。

(1) SOP1（長期休業中の特別授業）のオンデマンドコンテンツの作成および配信

年間本数：約40本

- ・英語、数学、物理、化学の2～4教科×年間8日間×2コース
- ・動画の長さ：1本あたり80分程度
- ・実施時期：夏季休業中（4日間：英語・数学）、冬季休業中（2日間：英語・数学）、春季休業中（2日間：英語・数学・物理・化学）

・ライブ配信の録画データを編集・配信

※ライブ録画の編集・配信を基本とするが、学習効果向上の観点から、ダイジェスト版の制作、単元別再編集、確認テストの組み込み等、より効果的な形式の提案を妨げない。

(2) SOP2（オンデマンドによる動画教材配信）：約30本

- ・数学、英語：10本ずつ 物理、化学：5本ずつ
- ・動画の長さ：1本あたり20分程度
- ・撮影時期：令和8年5月下旬～随時
- ・撮影場所：大分県教育庁遠隔教育配信センター 配信スタジオ

※月1回程度の公開を想定するが、入試傾向分析や視聴データに基づき、公開頻度やテーマ設定の見直しについて提案を行うことができる。

(3) 弱点補強動画コンテンツ：約10本

- ・数学、英語：5本ずつ

- ・動画の長さ：20分程度
- ・撮影時期：令和8年5月下旬～10月下旬
- ・撮影場所：大分県教育庁遠隔教育配信センター 配信スタジオ

※動画本数は上記を目安とするが、

学習効果最大化の観点から、構成・本数・形式についてより効果的な提案があれば妨げない。

### (3) 編集作業

- (1) 不要部分のカット、スムーズな構成への調整
- (2) 重要ポイントの強調（テロップ・ハイライト）
- (3) 図解やスライドの挿入
- (4) 動画冒頭に内容の要約や学習ポイントを追加
- (5) 視聴しやすい構成・デザインの調整
- (6) 上記の編集内容は基本事項とし、視聴維持率向上や理解促進に資する編集手法（インタラクティブ要素、チャプター設計等）がある場合は積極的に提案すること。

### (4) 配信準備・管理

- (1) 配信時期
  - ・SOP1：令和8年8月頃より配信開始
  - ・SOP2：令和8年7月頃より段階的に配信
  - ・弱点補強動画コンテンツ：令和7月より段階的に配信
- (2) アクセス制限を行い、許可されたユーザーのみが視聴可能とすること
- (3) 作成した動画コンテンツの配信に必要なドメイン、クラウドサーバー費用を含むこと

### (5) 成果測定・フィードバック

- (1) 動画の視聴回数の分析
- (2) 生徒からのリクエストを集約し、動画制作に反映
- (3) 県内高校の難関大学進学者数の増加を目標とする
- (4) 視聴回数の分析にとどまらず、視聴完了率、再視聴率、学習成果指標等を活用した効果測定手法について、具体的な提案を求める。

### (6) その他

- (1) 動画コンテンツ制作、編集作業については、遠隔教育配信センターの専任教員と協議等を行い作成すること
- (2) 多くの生徒が申込みや利用（視聴）しやすくするような工夫を提案すること

## 7 成果物

- (1) 遠隔教育関連広報及び遠隔教育用動画コンテンツ教材作成等業務実施報告書（LP作成内容、フライヤー・リーフレット作成内容を含む）
- (2) プロモーション動画および遠隔教育用動画コンテンツ教材（DVDまたはUSB）

## 8 その他の条件

- (1) 契約締結後、実施計画を詳細に作成・提示すること。
- (2) 県と委託候補者の協議により調整の上、契約を締結すること。
- (3) 成果物は著作権に配慮したものとする。